

高木 まり

(2016年 新春号)

事務所連絡先: 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-16-18

TEL:048-654-2559 FAX:048-652-6445 E-mail:takagi@marit.jp

ご意見お待ちしております!

埼玉県議会議員

高木 まり

さいたま市議(2期)を経て、2011年4月より県議(2期目)。福祉保健医療委員会に所属。会派では政調会長。
<http://www.marit.jp>



埼玉県の未来に必要な3つの柱

～埼玉県版・地方創生総合戦略、策定へ
採決は2月定例会に持ち越し～

今、埼玉県版の地方創生総合戦略の策定が進められています。全国的に人口減少が進んでいく中「消滅自治体」なる言葉も話題になりましたが、国は石破担当大臣を据え、各自治体に自らのまちの長期的な振興プランの作成を指示しています。

埼玉県議会はこのプランを議決事項とし特別委員会を設置。11月に素案段階から閉会中審査で提言をまとめると同時に、提出された議案を12月定例会で審査しました。残念ながら採決は2月定例会に持ち越されましたが、埼玉県の未来を見据えて何に力を注ぐべきなのか、議論が行われています。

高木まりが考える、
埼玉の未来に必要な3本の柱!

- ① 稼ぐ力
- ② 医療・介護の安心
- ③ 魅力的な教育・保育

① 稼ぐ力

これから生産年齢人口が減少する埼玉県においては、少ない人数でも成果を出す「稼ぐ力」の強化が必要です。既に埼玉県の施策として位置づけられている次世代産業・先端産業を伸ばす取り組み、県内中小企業の支援などを通じて「稼ぐ力」をアップし、しっかりとした雇用も作ることが重要。

② 医療・介護の安心

埼玉県の特徴的な課題は、全国一のスピードで75歳以上の皆さんが増えることです。この皆さんに安心していただけるよう、医療・介護の安心を作ることが急務です。これは、高齢者の皆さんの安心のためだけでなく、働く世代の皆さんが「介護離職」などに追い込まれないためにも、埼玉の活力にとって重要な取り組みになります。

③ 魅力的な教育・保育

東京圏で働く人が結婚して新居を設ける際に埼玉県を選らんでもらうには、どうしたらいいか。魅力的な教育環境、保育環境を整備するしかないと思います。ただ「子育てしやすい」を超えて「子育てに魅力を感じる」埼玉県へ。



今回議会に提案された

埼玉県版地方創生総合戦略の骨子

- 1) 県内における安定した雇用を創出する
～生産年齢人口減少期における経済活性化～
- 2) 県内への新しいひとの流れをつくる
～東京都区部への一極集中の克服～
- 3) 県民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
～少子社会からの転換～
- 4) 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る
～異次元の高齢化への挑戦～

2月定例会は 2/19(金)～3/25(金)の予定です。

高木まりは、予算特別委員会で賛同します!

新年にあたり

※ 公選法上、有権者の皆様への年賀状が禁止されております。失礼をお許しください。





12月定例会において、次回2月に行われる予算委員会から、審査方法を変更することが自公の強行採決により決定してしまいました。変更内容は、明らかに「後退」と言わざるを得ません。

これまでは常任委員会ごとの部局別審査も行うと同時に、予算特別委員会において、総合的な審査を行ってきました。知事に直接政策の意図・効果を質せる機会としても、重要な意味を持っていました。

しかし、今回の変更でこれらの予算特別委員会の意義を大幅に損なう変更が加えられることになりました。部局横断で総合的に質問できる時間が2時間半しかなくなり、この枠でしか知事にも質問することができなくなりました。同時に常任委員会ごとの部局別審査がなくなるので、議会が予算を審査する時間の総数も大きく後退します。自公は知事の出番を少なくしたいばかりに、議会審査自体を後退させました。

3つの後退

- ① 審査時間 →短く
- ② 総合的な審査 →ごく一部に
- ③ 知事答弁 →たった2.5時間枠に

～保健福祉医療委員会で質問しました～

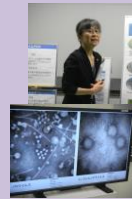
Q 乳がん・子宮頸がん検診の受診率を高めるには？
 がんが治る病気になっている今、早期発見・早期治療がカギだが、なかなか受診率が上がらない。受診率向上に有効とされるコール・リコールの県内市町村における実施状況は？また、市町村ごとに受診率の成績にかなりのバラつきがある。多くの住民が受診できている市の勧奨方法をモデルケースとして参考にすると有効と思うが、どうか。

A 県内全市町村でコール・リコール（未受診者に電話などで受診を呼びかける）は実施している。しかし、実施の方法にはバラつきがある。受診率で効果を上げている自治体の好事例を市町村の担当者会議で報告してもらい、勉強しあうこと通じ、今後も成果を出せるよう取り組む。

※皆さんもぜひがん検診受診を！

高木まりの ●視察報告●

昨年11/13に福祉保健医療委員会で、埼玉県総合リハビリテーションセンター（上尾）と埼玉県衛生研究所（吉見）を視察しました。衛生研究所では、県内での感染症の発生検知、予防などのための態勢を整え、最新の機器を導入して備えている状況を見てきました。感染症分野などはさいたま市も県に担当してもらっている分野です。



入して備えている状況を見てきました。感染症分野などはさいたま市も県に担当してもらっている分野です。



埼玉県薬物乱用対策推進計画 が策定されました

～昨年条例化した「(通称)危険ドラッグ対策条例」に基づき、プログラム始動～

昨年、危険ドラッグ使用者の引き起こした事件と乱用者の広がりをめぐる問題がクローズアップされ、国会でも法改正が行われましたが、よりきめ細やかな対応を行うべく県でも議会提案で危険ドラッグ対策条例が作られました。これに基づき、具体的な対策を網羅して今回、対策推進計画が策定されました。しっかり実行されることによる効果を期待します。

高木まり県政報告会 プロジェクトミーティングのお知らせ

「県では何をやっているの?」「ニュースを見ていて意見がある!」「自分の住んでいるまちはどうなるの?」…こんなことを考えている皆さん、ぜひお気軽にお出かけください。予約や入場料はいりません。

- とき: 2月21日(日) 14:00~16:00
- テーマ: 埼玉県の飛躍に向けて
- ところ: プラザノース第3セミナールーム

さいたま市北区宮原町1丁目 852 番地 1 TEL:048-653-9255
 *駐車場あり *電車:ニューシャトル「加茂宮駅」徒歩5分 *バス:JR宮原駅よりコミュニティバス北区役所線「北区役所」下車/JR大宮駅より上尾駅東口行き「北区役所」下車

編集後記

皆さん、新しい年をいかがお過ごしでしょうか。とても穏やかな元旦でしたが、年明け早々、国際的には北朝鮮の水爆の実験、中国の株式相場の下落、サウジとイランの国交断絶など、心配なニュースが聞かれます。世界が狭くなっている現状において、あらゆる国の閉塞感が高まっているのを感じます。

でも、世界の先行き不透明感が強い今だからこそ、地味をつけて、自治体、地域はしっかりと自身の課題をこなしていかなければならないと感じています。

幼稚園まで日光にいた私は、「猿」としてのお馴染みの「見ざる・聞かざる・言わざる」ですが、秩父神社には「お元氣三猿」がいます。

「見ざる・聞かざる・言わざる」は、よく聞く言葉ですが、よく聞かざる! 見ざる! 聞かざる! 言わざる! 三猿が重要で、私もこれを心掛けながら、元氣がばります。(高木)

